

学校だより



令和2年9月30日
横浜市立二谷小学校
校長 石川 秀子

知りたいな

学校長 石川 秀子

ある日の給食の時間でした。片付けのため給食室にやっていた1年生のうちの一人が、給食室前の掲示板の写真をじっと見つめています。それに気づいた担任が「今日、中にいた調理員さんはどの人かな」と尋ねると、「たぐちさん?」「じゃあ、会いに行ってみようか」とまた給食室に入って、作業している調理員さんに話しかけに行きます。いつの間にか給食当番の子どもたちも加わっていました。1年生は今、学校にいる先生方、職員の皆さんの「名前が知りたい」という思いから学習活動を進めています。出会った人の名前が知りたい、話してみたい、仲良くなりしたい、関わりたいという願いと行動は、探求につながっています。音楽専科の桑田先生との出会いは、二谷小学校の校歌を覚えてもらうことに繋がりました。もしかしたら以前6年生が1年生にプレゼントした縦割り班活動の紹介ビデオも「学校には、自分のクラスの担任の先生以外にもたくさんの方がいる」と思うきっかけになっているのかもしれませんが。知ること、覚えることも大切な学びですが、何かしたいという願いを持つこと、解決に向かって取り組むこと、活動中のどきどき、わくわく感や迷いも、達成感もすべてが子どもたちの学びの大切な姿です。毎日の学校生活の中にある小さな気づきが学びとなって積み重なり、子どもたちを育てています。

6月の分散登校から始まった令和2年度の前期もまとめの時期を迎えます。今年度は前期と後期の間に休日は入らず、終業式と始業式をまとめて「期分け式」とし、節目にします。例年に比べ期間が短い中ですが、子どもたちの学習や学校生活の様子を「あゆみ」に記録してお渡しします。学習の様子については学習指導要領の改訂に伴い、今年度からどの教科も「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点での評価となりました。「あゆみ」は子どもたち一人一人が過ごしてきた前期の様子を、頑張りや成長とともにお知らせするものです。子どもたちの努力を保護者の皆様と認め合い、今後の課題を見つけ、さらに子どもたちが成長するきっかけをつかんでいきたいと思えます。

記録的な猛暑の夏からあつという間に気温が下がり長袖が必要な気候になりました。「暑さ寒さも彼岸まで」とはよく言ったものです。季節の変わり目でもあり、感染症対策にも引き続き取り組む毎日です。地域、保護者の皆様もどうぞ体調に気を付けてお過ごしください。今月もよろしくお願いたします。

<お知らせ>

○今年度の運動会は感染症拡大防止のため三密を回避し、平日の午前中の開催としました。本来ならば地域の皆様にもご参観をいただき、子どもたちに声援を送っていただきたいところですが、保護者の参観も各家庭1名に限らせていただくなど、参観人数を抑えて実施することにしました。日頃から子どもたちの成長を支えていただいている地域の皆様方にご参観いただけないことは非常に残念ではありますが、ご理解いただけますよう、お願い申し上げます。

○5月より休校中の緊急受け入れ児童の指導、6月からは5、6年生の家庭科の指導に当たっていた中原由佳子教諭は9月30日で勤務を終え、斎藤桂教諭が10月1日より復帰いたします。